

失語症の方を取り巻く周囲の方へ

身近な方が何の前触れも無く言葉が不自由になると、混乱したり、驚いたり、不安になったりされますね。また、意思疎通ができなくて、イライラすることもあるでしょう。「失語症」についてよく知り、失語症の方の話したい気持ちを支えることが大切です。

失語症の方とのつき合い方

基本姿勢・環境

◆子ども扱いしない

その人らしい判断や考え方は保たれています。

◆静かで落ち着いた環境・雰囲気大切です。

表情を見ながら会話を進めましょう。

ちょっとした工夫

◆言葉かけは ゆっくり、はっきり、短く

はい/いいえで答えられるように漢字・身振り・表情・絵・写真など「話し言葉」以外の手段も駆使しましょう。

◆なじみの道具で会話を助ける

●メモを書いて渡す

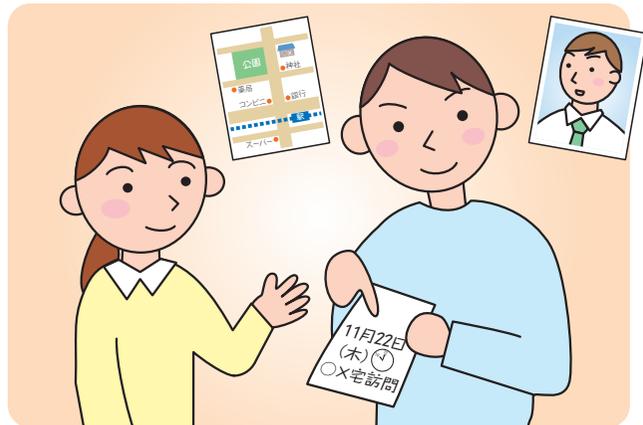
●いつ…カレンダー

身振りで日時を表す

●どこ…方向を指さす

地図で確認
場所の写真

●誰…その人の写真



5

よくある誤解・失敗

周囲の人が、失語症の方のために思って働きかけることで、かえって傷つけてしまうことがあります。

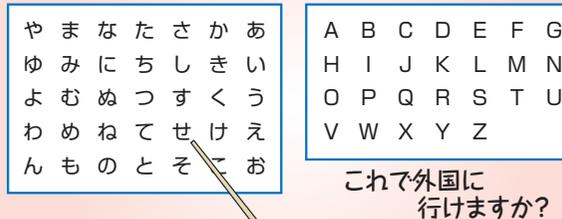
◆クイズやヒントは逆効果

少しでも言葉を取り戻してもらおうと、クイズを出す人がいますが、子ども扱いされると、傷つけてしまう恐れがあります。



◆50音表は役に立ちません

仮名が苦手なため、50音表は意味がありません。



◆ほどよい声の大きさで

「聞こえない」ではありません。「聞こえているけど理解できない」のが失語症です。大声は禁物です。

できることも沢山あります

失語症の方にできないことは、代わりに伝えることも大事です。しかし、全てを代弁するのではなく、伝えられるように支援することが大事です。

■発行/門真市健康増進課・大阪府国民健康保険団体連合会

■協力/門真市高齢福祉課・くすのき広域連合

■問合せ/門真市健康増進課(門真市保健福祉センター内)

〒571-0064 門真市御堂町14番1号

TEL.06-6904-6500

●3,500部制作し、1部あたり24円 ●2007年(平成19年)8月発行

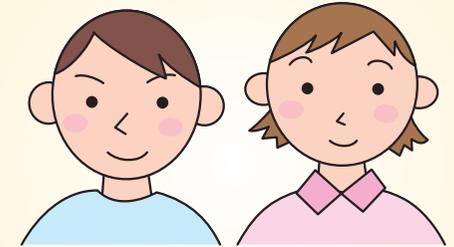


6

知ることで広がる支援の輪

失語症の方との上手なつき合い方

～失語症の方が安心して生活できる街づくりのために～



言葉の専門家
げんごちょうかくし

言語聴覚士(Speech Therapist)にご相談ください。

脳血管障害や頭部外傷の既往がある方

次のような事柄でお困りの方はご相談ください。

ことば

- 話しにくい
- なかなか名前が出てこない
- リズムが回りにくい
- 聞こえにくい 等

食事

- むせる
- 飲み込みにくい 等

1

失語症って？

脳血管障害や頭部外傷等により、脳の言葉の働きをつかさどる部分が損傷を受けたために、言葉を操る能力が障害を受けた状態を言います。

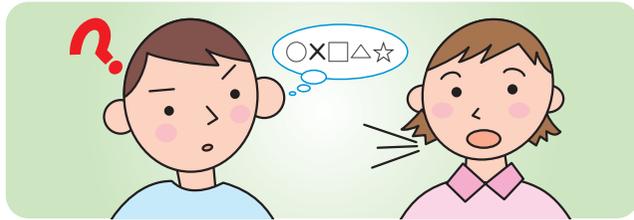


失語症になるとどうなるの？

言葉の通じない国に放り出されたような状態です。言葉を「聞く」「話す」「読む」「書く」ことに障害が及びます。

聞くことの障害

相手の話していることは、聞こえているのですが、なにを言われているのか理解することができません。



- 対応**
- 顔をみながら、ゆっくりと短い言葉かけをしましょう。
 - 実物や文字(なるべく漢字)、絵、写真を見せながら話しかけましょう。
 - 身振りもつけて話しかけましょう。
 - 少人数で会話をしましょう。

話すことの障害

(1) ものの名前がでてこない

どんなものかはわかりますが、名前で呼ぶことができない。自分の考えや気持ちを言葉で表現することが難しくなります。



2

- 対応**
- ゆったりとした雰囲気待ちましょう。
 - はい/いいえで答えられるように質問しましょう。

(2) 言い間違える

「寒い」→「暑い」、「5」→「9」のように語を言い間違えたり、「かどま」→「かぐま」のように音を間違えます。



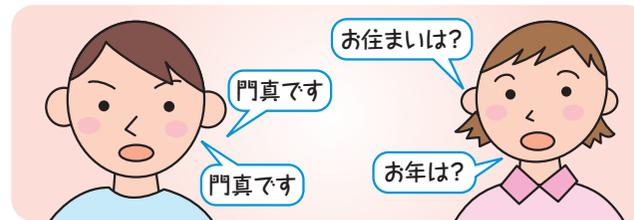
- 対応**
- 失語症の方自身が、言い間違いに気付いていない場合もあります。言い間違いを逐一指摘したり、言い直したりせず、意図をくみ取りましょう。
 - 実物や文字、絵を示しながら話の内容を確認しましょう。

(3) 訳の分からない言葉になる

言葉のスイッチが混乱している状態で、滑らかに沢山話しますが、聞き手には理解されません。

(4) 同じ言葉を繰り返す

場面が変わっても別の言葉を言おうとしているにもかかわらず、前に言った言葉を再び言ってしまう。

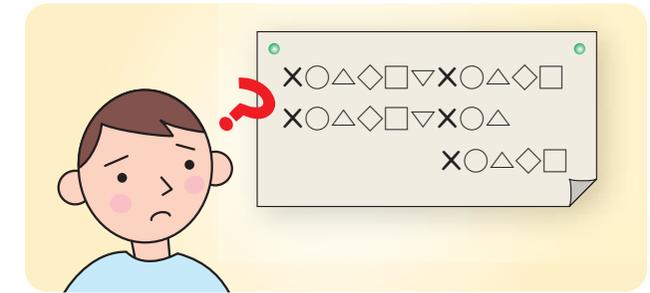


- 対応**
- 質問を書いて見せたり、はい/いいえで答えられるような質問の方法を工夫して様子を見ましょう。また、さりげなく話題を変えるなどして、一息いれてもらうことも大切です。

3

読むことの障害

内容が理解しにくかったり、声に出して読むことが難しくなったりします。



- !** 失語症の方の多くは、話し言葉より文字の理解の方が得意です。また、仮名文字より、意味を表す漢字の理解が得意です。

書くことの障害

話すこと以上に書くことは難しい方が多いです。



症状は千差万別

「言葉は理解できているが、言葉がほとんど出てこない方」「沢山話しているが、内容が空虚な方」等症状は多彩です。また、重症度も様々です。専門家に相談し、1人1人の症状に応じた対応の仕方を聞いてみましょう。

言葉以外の症状もある

体の右半分が麻痺して動きにくい。集中力が低下する。感情のコントロールができない等の症状が出現することがあります。

4